スイスでヒツジ・ヤギについて学ぶ

岩手大学農学部共同獣医学科３年
小澤茂々花

Zürich

街の中心はチューリッヒ湖。
霧が晴れた日にはチューリッヒ湖からアルプスがとても綺麗に見える。

Der Zürich see

2023 Februar

スーパーで売られていたヤギ肉。
しかしチューリッヒの人はあまり食べないらしい。しかも他の肉に比べて高い。
語学学校でできたタイ人の友達もヤギ肉は食べたくないと言っていた。
ホームステイ先でも、肉は豚肉、牛肉、ソーセージ（Würst）、ハムがほとんどでヤギ肉は食べることがなかった。

Das Brot

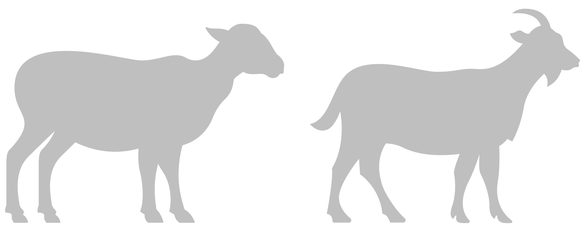
スーパーマーケット（MIGRO,COOP）で買うとチーズとパン、果物は安くておいしい。

大きな冷蔵棚一面に牛を中心として、さらにヤギ、ヒツジ、バッファローのチーズ。
スイス産にフランス産などのヨーロッパ産。
日本のスーパーの一般的なチーズコーナーの２倍はある。そのうち、ヤギのチーズは小さなスーパーで１種類、多いところで４種類ほどある。

Der Käse

Das Ei

卵は４個で約450円。
しかも、ケージ飼いではなく放し飼いの鶏の卵。



ホストファザーが連れていってくれたLucernのファスナハト。仮装した集団が楽器を持って街のあちこちで演奏をして歩くお祭りで、スイスの色んな街で開かれるらしい。仮装のクオリティ、演奏のクオリティどちらもとても高い！
魔女と魔法使い、ゴブリン、妖精、マリオとルイージ、兜を被った謎の生き物。個人的に感動したのはルシウス・マルフォイとドビー。
帰りに寄ったファストフード店のメニューには、ケバブやハンバーガーに並んでラム肉のソテーとフライドポテトのプレートがあった。約3000円で、他のメニューと同じくらいだった。

チューリッヒ動物園にもヤギ、ヒツジがいた。ウシ、ブタまでいた。
あれだけ可愛い、食用にされている家畜たちを見たら、肉やミルク、卵が高くても、動物に配慮して飼育していることに多くの人が価値を感じるようになるのだろうと思う。

アジア、アフリカ、オーストラリアなどの展示スペースも自然が再現されていて、動物が生き生きとしていた。
動物園というより植物園に動物も放したという雰囲気。
飼育スペースが広く木や岩があるため見ることのできない動物も多かったが、他の人たちも、見られなくても当然のように次のスペースに歩いていっていた。
入場料は約3500円。高い。でも、あれだけの施設を作り維持して、動物を飼育するには必要なんだと思う。